

石井小学校だより 「豊かな心, 楽しい学校, 地域で育つ子供たち」



みのり

第8号

令和7年12月発行

校長 小口 省吾

師走を迎え、何かと忙しいこの時期ですが、子供たちは、寒さに負けず元気いっぱい過ごしています。

(水曜ボランティア様の作品：校内掲示物)

今年はインフルエンザの流行時期が例年よりも早く、感染拡大のスピードも速く感じられ、大きな流行が懸念されましたが、現在はかなり落ち着いた状態になっています。手洗い・うがいの励行はもちろんですが、食事や睡眠を十分にとることも感染予防につながることを、保健委員の児童が給食時に放送して健康意識を高めています。今後も引き続き感染防止対策に努めてまいります。



今年も大きな事故等もなく、子供たちが安全に登下校できましたことは、保護者や地域の皆様に温かく見守っていただいたおかげと感謝しております。子供たちが健康・安全で充実した冬休みを送れますよう、引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

寒さが増す年末年始です。お体に気を付けて過ごし、どうぞよいお年をお迎えください。

5年生冒険活動教室

11月27日(木)から29日(土)に、5年生が2泊3日の冒険活動教室に行きました。篠井の山の中で、冒険活動教室の3つの目標を達成しようと一人一人が頑張っていることが、活動をしている子供たちの表情から伝わってきました。「園内オリエンテーリング」「登山」「イニシアティブゲーム」「杉板焼き」「キャンドルファイヤー」「篠井発見ラリー」等の活動を通して、豊かな自然との関わり方や友達と協力し助け合うことの大切さ、自分から進んで挑戦したことで得られる充実感などを実感でき、学校や教室では味わうことのできない貴重な体験となりました。

この経験をこれからの生活にぜひ生かしてほしいと思います。



人権週間

12月4日（木）から12月10日（水）の人権週間に合わせ、人権に対する意識を高め、自分や他の人々を大切にする心を育てたり、人権感覚を磨き、差別のない望ましい人間関係を作ろうとする態度を育てたりするために、「校内人権週間」の取組を実施しました。人権とは何かを放送で説明したり、人権作文集「明日へのびる」の読み聞かせをしたり、「ほめほめカード」を活用して友達のよいところ探しをしたりしました。また期間中は、生活目標や学級の「今日のめあて」を人権に関する内容にし、友達を呼ぶときの呼び方や言葉遣いに気を付けるよう意識を高める取組も行いました。

石井小学校が優しさあふれる学校になるよう、今後も継続的に取り組んでまいります。

2年生幼保小連携事業

2年生が、石井保育園と東石井保育園の園児の皆さんと交流しました。生活科「来年生とあそぼう」の学習で準備を進め、代表児童が教室に案内し、ランドセルを背負わせたり教科書を見せたりして学校生活を紹介しました。体育館では子供たちのアイデアで作成したゲームで一緒に遊び、楽しいひとときを過ごしました。

2年生は、園児の皆さんが楽しめるよう、相手の気持ちを考えながら、優しい気持ちで行動する姿が多くみられました。

ミシンボランティア

5年生の家庭科の学習「ミシンで楽しくソーイング」では、ランチマットづくりに取り組んでいます。ミシンの操作の仕方を教えてくださるボランティアを募ったところ、多くの方が来校し、子供たちに使い方のアドバイスをしてくださいました。

中にはミシンを触るのが初めての5年生もいて、恐る恐る使い始める姿も見られましたが、使い方を知って慣れていくと、縫うスピードが上がり、縫い方もみるみるうちに上達しました。

協力してくださったボランティアの皆様、たいへんお世話になりました。

感謝状贈呈

石井地区にお住まいの上野様から、「給食で子供たちにおいしいご飯を食べてもらいたい。」と、昨年に引き続きお米「ゆうだい21」をご提供いただきました。「ゆうだい21」は、宇都宮大学で偶然の発見から開発された『奇跡のお米』と呼ばれるものです。粒の大きさと美しさ、粘りと弾力、噛むほどに広がる甘みの深さなどに優れ、毎年数多くの品評会で高い評価を得ているお米です。先日、給食で提供したところ、子供たちからは、「もちもちでおいしい!」「お米によって味や歯ごたえが違うんだね!」などの感想が聞かれました。上野様には、宇都宮市長より感謝状が贈呈されました。安全でおいしい給食の提供へのご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

